

報告 1 資料 2

台風 19 号による災害に関する会長メッセージについて

(2019 年 10 月 18 日学会メーリングリストでのメッセージ)

日本 NPO 学会 会員各位

このたびの台風 19 号は、情報が整理され被災の全体像が浮かび上がるにつれて、東日本を中心に広範な地域で甚大な人的・物的被害を生み出したことがますます明らかになってきました。亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、人的・物的損害を被られた方々や、避難所等での避難生活を余儀なくされている方をはじめ被災された方々には心からお見舞いを申し上げます。

さらに引き続き降雨の情報も伝えられており、被害の拡大が懸念される状況ですが、現時点において会員の皆様に下記のことをお伝えさせていただきます。

○ 当学会の会員の皆様方におかれては、被害にあわれた方はおられますでしょうか。まずは会員のみなさまの中で、ご自身や所属機関などが被災された方がおられましたら、当学会事務局までご一報いただけますと幸いです。

○ 会員各位におかれましては、災害時に様々な民間非営利活動が行われること、また社会的期待も高まることから、それぞれの学識や知見に基づいて、救援・支援・復興の活動に貢献される機会が多くなると思います。また、災害時のこれらの活動を対象とする研究プロジェクトにも関与される可能性があります。会長として、会員の皆様が、これらの社会的役割を担われることに敬意を表しますとともに、研究倫理等の順守は当然のこととして、誠実かつ真摯に社会的要請に積極的に応え役割を果たしていかれることを期待しています。

○ ご存知のように、本年 2 月に当学会内に災害等対応委員会を設置し、三木秀夫理事を委員長として自然災害等緊急時における本学会の対応について検討を始めたところです。この検討の途上において今回の災害が発生いたしました。

当会として、この検討を継続しつつ、その過程において、適宜可能なところから学会としての対応を進めたいと考えています。

会員のみなさん、今回の災害の傷跡が癒され、復旧・復興に向かい、また将来の災害等に向けて防災レジリエンスの強化がなされますように、ともに尽力いたしましょう。

2019 年 10 月 18 日

日本 NPO 学会

会長 岡本仁宏